

調査項目	詳細な調査手法(案)	実施場所・範囲	確認事項				※1 実施 予定	2013(平成25)年度※2												2014(平成26)年度					備考 (2014(平成26)年度後期以降の調査予定など)
			前提 条件	養浜 (機能 ①)	突堤 (機能 ②)	埋設 護岸 (機能 ③)		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
海象・漂砂	潮位観測	水位計を定点に設置・観測	宮崎港	●			◎																	別途宮崎港で実施しているデータを共有	
	波浪観測	波高・流速計を定点に設置・観測	ネダノ瀬	●			◎																		
	風向・風速観測	風向・風速計を定点に設置・観測	一ツ葉PA	●			◎																	近隣で実施しているデータを共有	
	流向・流速観測	流速計を定点に設置・観測 フロート、染料による表層流れの調査	突堤周辺、県離岸堤区域、動物園東、大炊田海岸 突堤周辺		●	●	◎																	【効率化】 通年4地点を通年1地点+台風期2地点に効率化	
	トレーサー調査	着色砂等を用いた砂の追跡移動調査	海拔(T.P.)-12mよりも深い場所での代表点 突堤の北側にトレーサー投入、突堤の南北で追跡調査	●			△																	必要に応じて波の高さ複数条件で実施 沿岸方向複数点	
	海底ビデオ	ダイバーによる海底ビデオ撮影	代表測線	●			△																		
	底質コアサンプリング	底質の鉛直方向の採取と放射年代測定等	海拔(T.P.)-12mよりも深い場所での代表点	●			△																	作業が可能であれば時期は問わない	
	飛砂調査	飛砂トラップ調査	砂浜が回復し飛砂が問題になった場所	●	●		△																	飛砂が問題となる時期に実施	
	流砂量観測	河川流量観測、掃流砂調査、浮遊砂調査等	小丸川・一ツ瀬川	●			△																	宮崎県中部流砂系検討委員会と連携して実施	
測量	地形測量	汀線横断測量 浜崖横断測量 マルチファンビーム等を用いた面的な測量	宮崎港南防波堤～一ツ瀬川河口(自然浜区間の埋設 護岸設置箇所及び浜崖頂部背後を含む区間) 一ツ瀬川～小丸川	●	●	●	◎																【効率化】 年4回を年2回に効率化		
		マルチファンビーム、シングルビーム等を用いた測量	大炊田海岸(H23施工場所) 代表測線(水深T.P.-10～-12mより深い場所)				△																高波浪来襲後に必要に応じて実施		
		空中写真	飛行機等による垂直空中写真撮影	県離岸堤区域～小丸川 県離岸堤北端～一ツ瀬川		●	●	◎																可能であれば地形測量時に合わせて実施	
	カメラ観測	カメラ観測機材を定点に設置・観測	シーガイアIC、一ツ葉PA、動物園東(新設)、石崎浜、 大炊田(新設)、グリーンパーク東、富田浜		●	●	◎																CCTVでの代用観測の可能性も視野に入れる		
突堤・離岸堤堤体の点検	直接水準測量もしくはレーザー測量 堤防点検等の手法を準用(潜水目視観察含む)	県離岸堤区域、突堤天端及び法面			●	◎																地形測量時に併せて実施			
環境・利用	水質	水質調査(汀線部)	施工箇所周辺の汀線際バケツ採水、分析(SS、濁度)	当該年度の施工箇所周辺(汀線際)	●		△																		
		水質調査(カメラ監視)	一ツ葉ライブカメラ等を用いた日常監視	県離岸堤北端～一ツ瀬川		●		△																【効率化】 当面実施しない	
		水質調査(海中部)	採水器による海中養浜周囲の採水、分析(SS、濁度)	当該年度の施工箇所周辺(海上)		●		△																	
	底質	底質調査	採泥器、ダイバーによる底質採取、 分析(粒度、土粒子密度)	宮崎港～小丸川(砂丘～T.P.-12m:標高1mピッチ) (一ツ瀬川河口含む)	●	●		△																【効率化】 当面実施しない	
		養浜材調査	養浜材の分析(水底土砂判定基準項目)	新規の養浜材発生場所		●		△																新しい採取地からの養浜材は必ず実施	
	浮遊・ 付着・ 幼稚仔	浮遊生物調査	採水、ネットを用いたプランクトン採取、分析	住吉海岸(広域1地点)		●		△																【効率化】 当面実施しない	
		付着生物調査 幼稚仔調査	潜水目視観察および枠内採取、分析 サーフネットを用いた採取、分析	住吉海岸(広域1地点) 宮崎港～小丸川(広域6地点)		●		◎																【効率化】 6測線を3測線に効率化	
	底生 生物	底質・底生生物調査	採泥器、ソリネットによる底質採取、 分析(底生生物、底質環境)	宮崎港～小丸川(広域6エリア)		●		◎																【効率化】 6測線を3測線に効率化	
			ソリネットによる底質採取、 分析(底生生物、底質環境)	当該年度の養浜箇所およびその周辺 突堤および県離岸堤周辺 (対策実施箇所6エリア)		●	●	◎																【効率化】 6測線を3測線に効率化 年4回を年3回に効率化	
			Dフレームネット等を用いた定性採取法	石崎川河口域		●		◎																他項目と調整して5年間隔程度で実施	
	魚介類	魚介類調査	地元漁法(網漁法)による採取、分析	宮崎港～小丸川(広域6エリア)		●		◎																【効率化】 6測線を3測線に効率化	
			大型サーフネットによる採取、分析 潜水目視観察(付着は枠内採取)	住吉海岸(突堤周辺および動物園東)のサーフゾーン 突堤および県離岸堤周辺		●	●	◎																引き続き基礎データの蓄積のため実施 【効率化】 年4回を年2回に効率化	
	植物	植生断面調査	ライントランセクト法、横断測量	宮崎港～小丸川(広域6測線)		●		◎																【効率化】 海浜部のみ	
		植物相調査・植生図作成調査	空中写真をもとに、踏査による目視・記録	宮崎港～小丸川		●		◎																他項目と調整して5年間隔程度で実施	
	昆虫	昆虫調査	任意採集法、ライトトラップ法、バイトラップ法	宮崎港～小丸川(広域8地点)		●		◎																他項目と調整して5年間隔程度で実施	
	鳥類	鳥類調査	定点観察法、任意踏査による観察	宮崎港～小丸川(広域:3定点含む)		●		◎																他項目と調整して5年間隔程度で実施	
		コアジサシ利用実態調査		コアジサシの繁殖場所		●		△																	
	アカ ウミ ガメ	アカウミガメ上陸実態調査	上陸・産卵痕跡の確認・記録、横断測量	宮崎港～一ツ瀬川		●	●	◎																【効率化】 データ共有(他機関に委託)	
		文献調査	宮崎野生研の調査データの収集	宮崎海岸を含む県内全域		●	●	◎																	
固結調査		可搬型測定器を用いた貫入調査	宮崎港～一ツ瀬川		●		◎																埋設護岸設置箇所は必ず実施		
利用	漁船による操船調査	突堤周辺での漁船を用いた試験操業	突堤周辺		●		△																漁業者と相談して実施		
	利用調査 カメラ観測	分布調査、聞き取り調査 カメラ観測機材を定点に設置・観測	養浜・突堤・埋設護岸施工箇所を含む宮崎海岸全体 シーガイアIC、一ツ葉PA、動物園東(新)、大炊田(新)		●	●	◎																奇数月(平日・休日)に実施 空間監視カメラを利用		
景観	景観調査	現地及び視点場からの目視及び写真撮影	突堤及び埋設護岸設置箇所周辺		●	●	◎																埋設護岸設置による景観への影響把握		
市民 意見	市民談義所・よろず相談所・ ヒアリング	聞き取り調査、書面等の確認の上要検討	問題が生じた場所およびその周辺		●	●	◎																		
目視 点検	巡視	関係者による目視、市民による目視・通報	大炊田海岸(H23施工場所)、埋設護岸設置箇所 突堤天端および法面(陸上部)、埋設護岸設置箇所		●	●	◎																高波浪来襲後に実施(養浜形状、越波状況確認) 適宜実施(変形状況確認)		